

## 射水市スポーツ推進審議会議事録

期日：平成29年2月15日（水）10：00～

場所：射水市役所301会議室

出席者：

（委員）高橋委員、勝山委員、黒田委員、  
山本委員、佐伯委員、三上委員、  
片岡委員、藤川委員、久岡委員

（事務局）長井教育長、  
片岡副参事（生涯学習・スポーツ課長）  
（学校教育課学校教育係）  
三浦係長  
（生涯学習・スポーツ課スポーツ推進係）  
北村係長、沼崎主査、北村主任、  
長原主事

【開会のあいさつ】（長井教育長）

【委員と事務局の自己紹介】

【スポーツ推進審議会委員の規定説明】（北村係長）

【委員長の選出・決定】 委員長：勝山委員

【会長の挨拶】

【副委員長の選出・決定】 副委員長：佐伯委員

【審議進行】（勝山会長）

【内容説明】

射水市スポーツ推進計画の進捗状況について

- ・ スポーツ推進の具体的施策（平成28年度主要事業）説明（資料1）
- ・ 「施策目標達成のための参考となる指標」説明（資料2）

【委員からの意見等】

（委員）

学校施設開放のことだが、現在、地区体育協会で来年度の行事計画に取り掛かっている。来年度改修の予定があると聞いているが、使用団体には早めに知らせてほしい。

（事務局）

該当する施設の利用団体には既に案内しているが、今後も随時お知らせする。

（委員）

地区体育協会から推薦しているスポーツ推進委員の具体的な活動の様子が推薦団体にわかるような仕組みができないか。

(事務局)

スポーツ推進委員には、地元を代表して活動してもらっており、各委員が地元で活動状況を説明されていると認識しているが、今後スポーツ推進委員協議会と相談したい。

(委員)

富山マラソンの効果で、元旦マラソンの参加者が増えている。

(委員)

主要体育館でも、走路利用者が増えている。大島中央公園内にもあるが、公園内に走路コースを整備することを検討されてはどうか。

(委員)

元旦マラソンを、2か所で実施する必要があるのか。

(事務局)

この行事は、合併前旧市町からの引き継ぎ行事であり、「風物詩」的な意義が強いと思っている。このことから、市の事業として続ける意義が薄れており、各地域が中心となって継続していただきたいと考えている。

(委員)

健康寿命延伸ということで、スポーツ実施に取り組む市民も増えているが、クラブ会員においては高齢化が進んでいる。競技スポーツの環境整備等は進んできているが、市としてぜひ高齢者向けの施策にも取り組んでもらいたい。

(事務局)

総合型地域スポーツクラブと相談しながら検討していきたい。

#### 【内容説明】公共スポーツ施設の見直し状況(資料3)

##### 【委員からの意見等】

(委員)

他の部門と連携した取組はしているのか。

(事務局)

保健センター所管の「高齢者向けの貯筋教室」など、総合型地域スポーツクラブと連携して実施しているものや、健康保険関係の教室もある。指導者の派遣など、相談があれば伝えていきたいし、逆にスポーツクラブからも、よいものがあれば紹介してもらいたい。

(委員)

これまで市が取り組む事業には利用者の自己負担は考慮されていない。市が手を引いてスポーツクラブが引き継いだ場合、利用者の負担は当然必要。しかし、元々市の事業に自己負担が考慮されていないので、不満・誤解も出てくる。自己負担という意識をもってもらうために、自己負担を考慮した内容の事業にしておいてほしい。

(事務局)

無料なら参加者を増やすきっかけづくりとなり、事業を継続するには、利用者負担は不可欠と考えるが、そのバランスが難しい。事業の周知と理解の進め方が大切と考えている。

(委員)

新湊保健センターにトレーニング機器があり、地域の高齢者の方々が無料で利用しておられたが、できなくなった。代替として体育館に来て下さいと話をするが、高齢者にとっては困難だと聞く。そこで、各コミュニティセンターにトレーニング機器等の設置を検討してはどうか。

(事務局)

地域振興会、各地区体育協会などと連携とり合っただけ検討していきたい。

(委員)

最近、中学校の柔道・剣道の領域に空手や弓道も加えることが新学習指導要領改定時に取り上げられるようだが、どのように考えているか。

(事務局)

全ての学校で選択必修とするのではなく、選択の幅が広がったものと捉えている。

(委員)

小学校・学校体育サポート事業については、今年度は途中から始まったが、子供の体力向上から考えると、年度当初からの実施が適切かと思う。

(事務局)

平成29年度は予算要求をしているので、1学期早々に開始することができる見込みである。

(委員)

今後の小学生駅伝大会については、これまで通り、市校長会・市体育協会・担当課と連携して進めていきたい。

(委員)

連合運動会については、高岡市の城光寺陸上競技場を毎年借りてバス移動して実施している。今後も継続するので、市の施設を建設してはどうか。

(事務局)

あったらよいと思うが、現在の施設の維持管理を優先している。

(委員)

子供たちの声掛け事案やセキュリティ対応のことが課題となる。体育館など、公共施設の監視カメラの設置はできないものか。

(事務局)

館内のカメラについては設置されている施設もある。学校に届く不審者情報のメール連絡などは、各施設に配信または転送するよう適宜対応していく。

(委員)

昨年、北信越大会が実施され、全国大会等においてもたいへん素晴らしい成績だった。北信越大会出場の登録人数は120名ほどであり、その中から全国大会に出場した生徒もいた。「運動部活動活性化の推進事業：スポーツエキスパート派遣事業」については、確実な成果につながっている。教員の多忙な現状からみてもたいへん助かっている。今後も地

域の方にもどんどん入ってもらい、指導の効果を高めていただけることを期待している。

(委員)

田知本選手のように活躍されている選手もいるが、オリンピック競技の開催地誘致についての施策はどうか。

(事務局)

呉西地区6市としては、高岡市を中心としながら連携した取組を行うことを合意している。施設の相互利用などについて、検討していきたい。

(委員)

「見るスポーツの機会づくり」を、今後もぜひ積極的に行ってほしい。

(委員)

昨年、田知本選手がリオデジャネイロオリンピック出場を決めて、金メダルを獲得された。小杉中学校にも何度か来てくれ、子供たちが田知本選手から直接話を聞く機会があった。それが功を奏し、小杉中学校がたいへん素晴らしい成績を挙げることができたと捉えている。射水市から、全国的、国際的に活躍している選手が輩出されることは、市のスポーツ振興にとってもたいへん大きな鍵を握っていると思う。

他にご意見等がないようであれば、これで会を閉じさせていただきます。今日は、みなさんありがとうございました。